

△産業宣教 アハブ時代の産業人 (I 列 18:1-15)	△レムナント伝道学 世の中の隠れたわざわいを知る レムナント (出 20:1-5)	△核心 霊的運動三つ (I 列 19:1-8)	△散らされた弟子たち やぐらを立てる奥義 (イザ 6:13, 7:14)
<p>ネフィリム団体が強大国と産業を掌握して、私たちはやむを得ず、ついて行かなければならない。問題は、今、みな死ぬのに教会が他のところに関心があるので負けることだ。</p> <p>□序論_アハブ</p> <p>1. 創 3・6・11 権力者</p> <p>2. 世界化政策で偶像をたくさん持って入ってきた。</p> <p>3. 偶像国家にした。</p> <p>□本論_これを分かる重職者オバデヤひとりすべてを変えた</p> <p>1. 権力者-アハブ</p> <p>今がどんな時代なのか霊の流れを分ると、権力者にも勝つことができる。答えは霊的世界を通して来て、わざわいも霊的世界を通して来る。これを分かるそのときから、すべてが変わって答えも変わる。</p> <p>1) オムリの子 (I 列 16:31)</p> <p>2) ツロ (シドン) 王の娘イゼベルと結婚した。</p> <p>3) バアル崇拜者になった (完全にネフィリムに陥ったこと)</p> <p>4) バアル、アシェラ預言者 850 人を育てた。</p> <p>5) ナボテのブドウ園をうらやましく思って奪った。この人にオバデヤが戦わないで勝った。</p> <p>2. イゼベル-ネフィリム女性</p> <p>1) 王の妻</p> <p>2) バアル、アシェラに本格的に崇拜するようにさせて、偽りの指導者が集まるようになった。</p> <p>3) 所々に神々の宮をたてた。</p> <p>4) エリヤを最後まで殺そうとした。 5) 民に殺害される。</p> <p>3. 850 偽り預言者に完全に勝つ役割をしたオバデヤ</p> <p>1) アハブの臣下 2) 預言者 100 人を隠した。</p> <p>3) カルメル山の戦闘の橋渡しをする。</p> <p>△レムナントは覚悟しなければならぬ。政治指導者に正確な福音によって仕えるだけでも大きな働きが起こる。</p> <p>□結論_ (土 1:31-32)</p> <p>アシェル部族に配当されたツロ、シドンの土地を占領できなくてこのような問題まで来たのだ。地域から先に霊的に掌握することが伝道だ。</p> <p>1. 3 団体を超越する祈りを味わえば</p> <p>2. 霊的作品が出てくるようになる。それで産業をするのだ。</p> <p>3. ひとりが契約を握っても、わざわいを止める伝道弟子になることができ、237 とつながる。本当に祈りだけすれば良い。「どのようになれば、この地域と私たちの教会を生かすことができるか」レムナントは本当のことを持って祈り始めれば、大路が開かれる。開かれれば行けば良い。いまは、237、5 千種族に行く。来ている人々をどのようにしなければならぬのか答えが残っている。教会に外国人が現れれば食事もして霊的疎通をすべきだ。すると答えは自然に来るだろう。</p>	<p>「隠れたわざわい」が何か知らなければならぬ。</p> <p>□序論_三つの時代</p> <p>1. ネフィリム時代</p> <p>1) 3・6・11、13・16・19 -ネフィリム時代始まり</p> <p>2) 文化・政治・経済掌握</p> <p>3) プラットフォーム・見張り台・アンテナ作る</p> <p>2. 分裂時代</p> <p>1) 両極化 2) 貧富格差 3) 生存格差</p> <p>3. わざわい時代</p> <p>1) 主人 (ヨハ 8:44) 「あなたがたの父である悪魔」それゆえ初めから嘘</p> <p>2) 導き (出 20:1-5) 偶像崇拜</p> <p>3) 状態 (マタ 11:28、マコ 5:1-10) 霊的に苦勞、重荷、精神病</p> <p>4) 肉体 (使 8:4-8) 不治の病に苦しめられる</p> <p>5) 背景 (ルカ 16:19-31) が地獄</p> <p>6) 未来 (マタ 27:25) この問題を次世代にそのまま</p> <p>□本論_偶像崇拜 もがき</p> <p>1. 始まり</p> <p>1) 創 3:4-5 (私) 2) 創 6:4-5 (私のこと)</p> <p>3) 創 11:1-8 (私の成功)</p> <p>△神様が造られた私、私に与えられたこと、行けと言われた現場で始めなさい</p> <p>2. 偶像国家</p> <p>1) エジプト 2) ペリシテ 3) バビロン - 「サタン」の戦略</p> <p>3. 偶像文化</p> <p>1) Mason 戦略-残ったことはメイソン戦争</p> <p>2) 商業化-文化、社会、商業化</p> <p>3) 政治化-これが政治的に</p> <p>□結論</p> <p>1. 背景 (3・9・3) -超越的背景、三位一体の神様と御座、3 時代</p> <p>2. 答え (作品) -超越的答え、祈りの作品</p> <p>3. 伝達 (やぐら) -超越的伝達、やぐら。レムナントはやぐらを立てる中</p>	<p>牧会者、重職者、レムナント (1 千やぐらの主役) -神様のことに向かったワンネスになるべき。任職される時も一生宣教しなければならぬ国を選択して、次世代と弟子が引き続き行くようにチームを組まなければならぬ。</p> <p>□序論_三人の共通点</p> <p>1. わざわいが何か知っていた。</p> <p>1) サタンの戦略を知っていた。</p> <p>2) 本人の霊的背景が何かを確信した。</p> <p>3) 霊的に戦った。オバデヤはアハブ王に契約とメッセージを伝達した。</p> <p>2. ここにいる理由を知ったこと</p> <p>1) 王の臣下として行くようにされた神様の理由</p> <p>2) エリヤが荒野にいた理由</p> <p>3) 全てのもの捨てて一つだけ追い求めて行った。</p> <p>3. いのちをかけるほどの価値を見つけたこと</p> <p>1) 100 人の預言者を隠した。 2) 危機 (死) が近づいた。</p> <p>3) 神様がこの時代に願われることを知った。</p> <p>△レムナントは重職者、牧会者と霊的疎通をしなければならぬ。その人々の心の中に、祈りの中にいなければならない。</p> <p>□本論_三つしたこと</p> <p>1. カルメル山-霊的勝利から先にすべきだ。</p> <p>ヨセフが兄たちに出会ったとき、兄たちが自分を売ったのではなく神様が私を先に送られたと言った。</p> <p>1) いのちをかけた頼みごとをエリヤがした。</p> <p>2) オバデヤが王の前に行って話した。</p> <p>3) 偽り預言者をみな滅ぼすようになる。</p> <p>4) わざわい (日照り) が終わった</p> <p>△貧困、病氣、伝道が難しいということ、みな変えなければならぬ。</p> <p>2. ホレブ山-霊的召命を受ける。エリヤは終わったと言ったが始まりだった</p> <p>1) イゼベルの怒りで指名手配されたエリヤ 2) エリヤの落胆</p> <p>3) 神様は目に見えないように主の使い、御使いを送って、霊的に大きな力を与えられた。</p> <p>4) ホレブ山で王を変えようとエリヤを立てることを言われた。</p> <p>5) 七千の弟子が残っているとされた。</p> <p>3. ドタンの町運動-霊的使命完遂</p> <p>1) このとき、神様がエリヤを呼ばれた。</p> <p>2) 祈り-霊の二つの分け前をください。</p> <p>3) ドタンの町運動という使命を成し遂げる。</p> <p>□結論_ 3・9・3 -キリストという単語で三位一体の神様が目に見えないように働かれる。みなさんの考え、心の中に働かれる。</p> <p>1. 答えが出てくる時まで 3・9・3 で編集</p> <p>2. 応答が来る時まで祈りで設計</p> <p>3. 現場 237、5 千種族に合うようにデザイン</p> <p>△祈りと呼吸ですべてのことを生かして調節することができる。レムナントはサミットタイムを持って深い祈りと呼吸時間を持たなければならぬ。霊的力を育てなさい。</p>	<p>やぐらがあってこそ、プラットフォーム・見張り台・アンテナを立てる。神様がイザヤに「あなたではなく、レムナントを見張り人として立てなさい」この見張り人はやぐらを守る</p> <p>□序論</p> <p>1. 20 (5 基礎) 伝道戦略を持って私ほどの程度、伝道の流れの中にいるのか確認</p> <p>2. 12 使徒 (初代教会の副教役者はほとんどみな堂会長の役割)</p> <p>3. 70 弟子 (重職者は現場宣教師)</p> <p>4. 237 と私の職業が合うのが基準</p> <p>5. 5000 種族弟子と私とどうなるべきか</p> <p>韓国で会う (TKK) ほとんど 5 千種族と関係</p> <p>□本論</p> <p>1. 強大国に送った-理由は序論 (1~5) 見る道</p> <p>1) 奴隷 (エジプト行く道)</p> <p>2) ペリシテを打ち破ったり、生かしたりする道はミツパ運動 (言い訳してはならない)</p> <p>3) 捕虜になった理由を知って (心を定めた)</p> <p>4) 属国になった理由 (ローマという道に乗って福音を伝えること)</p> <p>5) それでも悔れないで流浪の民に</p> <p>2. 強大国-内容</p> <p>1) 創 37:1-11 世界を生かす内容</p> <p>2) 出 3:18 血の契約</p> <p>3) イザ 6:13, 7:14 レムナントとインマエル</p> <p>4) ローマ (証人として)</p> <p>3. ただし、みなさんの姿がわざわいを止める宣教で行かなければならぬので</p> <p>1) 捕われた者 2) 散らされた者</p> <p>3) 残りの者</p> <p>このような姿に見えることも</p> <p>□結論_ 「私の伝道日程表」作りなさい-正確に</p>

△区域メッセージ (第7週) 御座の力と 25 の答え (創 2:1-18)	△聖日 1 部礼拝 私の人生ターニングポイント (使 16:6-10)	△聖日 2 部礼拝/神殿建築献身礼拝 神殿建築の二つ目の理由 (使 16:11-18)
<p>私たちが行く所に困難、問題、不可能なことが多いだろう。未来が大変で恐ろしい時もあることだ。しかし、私たちが答えを受ければ良い。この契約の中にある勇気を持ってこそ、正しい答えが始まる。一番最初に霊的状態が変わる。「御座の力と 25 の答え」は私たちが受ける答えだ。</p> <p>□序論 祈って礼拝するとき、御座の力と 25 の答えは成り立つ。</p> <p>マタ 5:3 天の御国があなたがたのものです。 マタ 6:10 神の国が臨むように祈りなさい。 マタ 6:33 まず神の国とその義とをまず第一に求めなさい。すべてのことはついてくる。 マタ 12:28-30 聖霊が臨んでサタンが縛られれば神の国が臨んだのだ。 使 1:3 神の国のことを 40 日間語られた。</p> <p>1) イスラエルがこれを信じないで完全に滅亡したが、これからも問題だ 2) ヨーロッパ、アメリカ教会が門を閉めている。 3) 無関心-違うことには関心があるのに御座の力にだけ関心がない。</p> <p>□本論</p> <p>1. 私-御座化 1) 限界-ほとんどのこれをのがすと限界が来るしかなくて落胆する。 2) 神様が造られた私を発見-3・9・3 目に見えないように三位一体の神様が私とともにおられ現場、産業、自分自身に先に御座の力が現れる。過去、現在、未来がみな神様の計画だ。 3) 土台、答え、改革-難しい過去が土台、大変な今日が答え、不安な未来を変える改革の祝福が起こる。</p> <p>2. 教会-御座化 1) 詩 103:20-22 礼拝するとき、みことばを成し遂げる御使いと天の軍勢が動員 2) 答え、更新、機会-問題は答え、人々の葛藤は更新、危機は機会 3) 237-5000 力がない人に 237、5 千種族を生かす道が開かれる。</p> <p>3. 現場-御座化 1) 時空-御座化の祝福を受ければ時空を超越する。 2) 既成世代、現場-既成世代、他の人が見えなかったことが見て、現場の人が見えなかったことが見える。ヨセフは奴隷として行ったが、世界福音化を見て、エジプトの指導者と王が見えなかったことを見た。 3) 光-70 現場に光の経済で 70 地域、70 の国、70 現場を生かすようになる。現場と産業に必ず御座の力が現れて、他の人を生かさなければならぬ。</p> <p>□結論 1. RT 7 -レムナント 7 人のように、他の人を生かさなければならぬ。 2. ヘブ 11:38 -ヘブ 11 章の人々のように、「この世は彼らにふさわしい所ではありませんでした」 3. ロマ 16:25-27 -ロマ 16 章の人々のように、「世々にわたって長い間隠されていたが、今、そしてとこしえまで」</p>	<p>□序論_パウロと他の人の差異点 1. 福音をあかしする、心の痛みがいつもあったパウロ 1) 福音を伝えるとき、光があかしされて暗やみが崩れる 2) 聖書の歴史、教会史、歴史 (1) 聖書の証拠-血の契約を握って王宮に入ったひとりが世界変化 (2) 歴史の証拠-福音の光が入らなかった国は全部滅亡 (3) 教会史の証拠-私が持っている福音は永遠に私を生かして、他の所には光があらわれる。 3) パウロの最高の使命-福音あかし 2. パウロが考えた成功は他の人と違った。 1) ユダヤ人が考える成功-サンヘドリン最高議会、パリサイ人、ヘロデ党、律法学者、祭司、預言者派に入ること 2) これをものすごい失敗として見たパウロ (ちりあくたと思う) 3) パウロの最高の成功-福音あかし</p> <p>□本論_門が閉められた理由→三つのターニングポイント 1. 私の前に答えがないのは、絶望の中でもものすごい祝福を見るターニングポイント 1) ヨセフ-エジプトに奴隷として売られて行くことは世界福音化の大きい現場だと確信。監獄は絶望が大きな祝福のターニングポイントに変わる 2) ダビデ-死に追われて驚くべき祝福を発見。王になったとき、後援してくれる人々にみな出合い 3) 初代教会も苦しみに遭うたびに祝福のターニングポイントの出合い 2. 神様が上から与えられるその力を体験するターニングポイント 1) パウロが契約を握って祈る日の夜に-主の聖霊が (6 節)、イエスの御霊が (7 節)、幻のうちに (9 節)。このような時刻表を持った 2) 御座の力を味わう人生のターニングポイントを作ったこと 3) このときから神様が重要な出合いの祝福を与えられた-トロアスからマケドニヤへ! トロアスの夜があることを願う。</p> <p>△絶望の中で神様の祝福を見つけ出すターニングポイント、いつも世の中の方法で生きたが、神様の御座の力を体験するターニングポイント 3. もっと大きい未来を置いて人生のターニングポイントを作る時刻表-マケドニヤへ来なさい (9 節) 1) シャーマンの町ピリピールデヤを備え 2) 犯罪都市テサロニケ-ヤソンを備え 3) 墮落都市コリント-ブリスカ夫婦に会うように 4) アテネ神像で滅亡直前であるエペソ-ツラノ運動を備え 5) ローマ福音化とロマ 16 章の人々を備え (使 19:21、23:11、27:24)</p> <p>□結論 1. 絶望を神様の祝福の機会に、天の御座の力を味わう、神様の確実な未来を見つけ出すターニングポイント-契約を握りなさい。 2. 福音と福音運動は光だ。 3. すべての重職者-一生多民族生かして次世代を生かすやぐらを教会の中に立てると祈りなさい。</p>	<p>一生のやぐら-編集 (みことば)、設計 (計画)、デザイン (現場) 私が一生に何のやぐらを作らなければならないのか、続けて資料を探さなければならぬことになってみことばが見える (編集)。続けて見つめれば神様の計画が見える (設計)。そして、現場が見える (デザイン)。継続すれば、なぜ神殿が必要なのか出てくるようになる。神殿建築の理由は、人の救いと礼拝だ。二つ目は三つの庭を準備することだ。そこに私のやぐらを立てることだ。これをどのようにしなければならぬのか、ずっと祈りで味わってみなさい。</p> <p>□序論 1. 病気の始まり 1) 創 3 エデンの園、6 ノアの洪水、11 バベルの塔事件 (すべてののろいの始まり) -聖書にだけ答えがあつて今でも続いている 2) 答えが出てこないから偶像神殿建築 3) 6 つのわざわい (個人)、7 わざわい (時代) が来る。 2. 神様の命令 1) 幕屋を作りなさい (主役がモーセ、ヨシュア、カレブ) 2) 神殿を作りなさい (一生祈って準備したダビデ) △レムナントは地域にすべての暗やみを止める神殿をあらかじめ祈らなければならない。世界征服しなければならぬから十分の一献金をすべきだ。霊的戦争で勝つ神殿準備を幼い時からしなさい。 3) 教会 (世界化) -教会が変わって世界化が起き始めた 3. 教会がこの祝福をのがすと問題発生 1) 3 団体 (ネフィリム運動) 2) ムスリム (一日 5 回祈りで地球 1/3 を掌握) 3) Temple Stay (テンブルステイ)</p> <p>□本論_三つの庭 (内容) 回復したパウロ 1. 根本いやし-祈りの庭 24 1) 使 16:13 祈り場があるかと思って行くとき-ルデヤに会って福音を伝えピリピール教会が始まり 2) 使 16:16 祈る場に行くとき-悪霊につかれた者についてイエスの御名でいやし 3) シャーマン (精神病) に捕えられた村自体をいやし 2. 病氣いやし-異邦人の庭 24 1) 使 13:5-12 2) 使 16:16-18 3) 使 19:8-20 △これがパウロがした全体だ。少しだけ祈り 24 システムを備えれば、いやされるが、そのような教会がないのだ。正確に医師の話を聞いて、食べ物、運動、祈り、呼吸を正しくすればいやされる。 3. 未来いやし-子どもたちの庭 24 準備しよう。 1) 使 17:1 会堂に入ってキリストの 当為性 2) 使 18:4 礼拝と 祈り 3) 使 19:8 神の国 を教えた。</p> <p>□結論_やぐらを立てなさい 1. シャーマン時代-戻ってきたシャーマンを正しく訓練して指導者にすべき。 2. 霊的病氣いやし時代 [TCK]-難民、TCK を指導者にすべき 3. RT サミット時代-レムナントが来て読書フォーラム、目を開いてあげるべき</p>